

「応援席に感謝の勝利を」

大栄中学校サッカー部



ぼくたち大栄中学校サッカー部は、2年生18人、1年生3人の合計21人で、平日の朝と放課後、土・日曜日、祝日の午前中に、学校のサッカー場で活動しています。

練習は実戦形式が中心です。放課後には、5人ずつのチームを作ってミニゲーム、休日には、2チームに分かれての紅白戦や、ほかの学校との練習試合を行います。朝の練習は、部員それぞれが実戦練習を通して感じた課題を克服するための時間です。共通の課題を持つ数人でグループを作り、ドリブルやパス、シュートなどを練習します。

ほとんどの部員が、小学生のころから大栄FCというチームと一緒にプレーしてきました。そのため、部員同士はもちろん、部員の親同士も仲が良く、試合中は応援席がとて盛り上がり、ぼくたち選手を後押ししてくれます。

9月に行われた印旛郡市の新人戦では、声援に応えられず、初戦で敗退してしまいました。その試合で感じたチームの課題は、声が出ないこと。ボールを持っている味方に対して、敵が背後からボールを奪いに来ていることを知らせたり、守備の際に、マークする相手を指示したりするのに、声を出すことはとても重要です。また、「いくぞー」などの掛け声を出すだけでも、チームの雰囲気盛り上げることができます。それ以来練習では、声を出すことを意識しています。

次の大会では、いつも心強い声援を送ってくれる応援席に勝利を届けたいです。



相手をかわす果敢なドリブル



山倉 賢太 部長(2年生)

自分が中心となって積極的に声を出すようにしています。日ごろの練習からチームを活気づけていきたいです。

「掛け声とともに踊れば気分爽快」

阿波踊り「なりた連」

わたしたち「阿波踊りなりた連」は、毎月第2・4土曜日に加良部公民館で阿波おどりを楽しんでいます。市内に住む徳島県出身者数人が、イベントなどで踊っていたところ評判を呼び、平成15年にサークルを立ち上げました。徳島県出身以外のメンバーも加わり、現在は16人で活動しています。

阿波おどりは徳島市などで行われる盆踊りの一種で、数十人が連と呼ばれるグループを作り、「阿波よしこの節」に合わせて街を練り歩きます。男性は、はんでん姿でうちわを片手にひょうきんに、女性は、編みがさと着物姿で優雅に踊ります。女性が男踊りを踊ることもあり、わたしたちのサークルでは、入会するときに、本人にどちらを踊るかを決めてもらいます。

「ヤットサー」「ヤットヤット」など、おはやし



そろいの着物に編みがさ姿の女踊り



成田ふるさとまつりで踊りを披露



阿波おどりはやめられません

りを盛り上げるだけでなく、踊りだす合図という重要な役割があります。踊り手の気持ちを一つにして動きをそろえるために、普段の練習でも全員で掛け声を掛け合って踊ります。陽気なおはやしの音楽に乗って、みんなで大声を出しながら体を動かしていると、気分が晴れ晴れとしてきます。

阿波おどりに「二掛け、二掛け、三掛けて」「四（仕）掛けた踊りはやめられない」という掛け声もあります。この掛け声の通り、メンバーも阿波おどりの魅力に取りつかれています。皆さんも、こんなに楽しい阿波おどりをわたしたちと一緒に踊りませんか。



橋田 康成くん(1歳)公津の杜

歩くの大好き。働き者のやんちゃな男の子です。



小菅 颯大くん(2歳・左)土屋

あかりちゃん(2カ月)

家族が増え、とてにぎやかな家になりました。



高橋 一葉くん(1歳)並木町

甘えん坊で泣き虫な一葉くん。毎日みんなを笑顔にしてくれます。これからも毎日楽しくみんなで笑っていようね♥

このコーナーには市内在住で満5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ 広報課 ☎20-1503